

(全学共通)

教育	目的：個々の教員による授業・教授法、学生募集並びに学生支援能力の開発		
	到達目標（個人）	FDプログラムの例	評価指標の例
フェーズⅠ： 導入（知る）	<ul style="list-style-type: none">① 担当科目のカリキュラム上の位置付け及び目標（ねらい）について理解する。② 授業形態（講義、演習、実習、実験）について理解する。③ 学生の特徴・ニーズを理解する。④ ①から③に基づいて、シラバスを作成し、必要に応じて先輩教員から助言を受ける。⑤ 授業を実施する。⑥ アドミッションポリシー、入試形態などを理解し、入試に協力する。⑦ 先輩教員の助言を得て学生支援を実施する。	<p>【学科及び全学主体】</p> <ul style="list-style-type: none">1. オリエンテーション2. ガイダンス3. 講演会4. 先輩教員の授業聴講5. 大学刊行物を題材にした学習6. シラバス作成の補助・練習7. 定期試験実施要項、定期試験監督の補助8. 大学広報、大学案内、その他大学刊行物9. 学生支援 (チューター・担任・ゼミ制、オフィスアワー)	<ul style="list-style-type: none">1. プログラムの参加者・利用者数2. プログラムの参加者・利用者の満足度、目標の到達度3. 授業聴講状況4. 自己学習状況5. シラバス作成状況
フェーズⅡ： 基本（実践）	<ul style="list-style-type: none">① 教材（テキスト、資料）を選択し作成する。② 学生の状況に合わせて、授業方法について開発・工夫する。③ 成績評価の方法について理解し、学生の成績を評価する。④ 授業を評価するための基本的な方法を知り、自らの授業を自己評価する。⑤ アドミッションポリシーが説明でき、よき学生獲得に協力する。⑥ 学生支援を実施する。	<p>【学科及び全学主体】</p> <ul style="list-style-type: none">1. ワークショップ2. セミナー3. 授業公開プログラム4. 模擬授業5. 授業日誌のためのフォーマットの提供 <p>【学科主体】</p> <ul style="list-style-type: none">1. 教育に関する学会・研修会参加	<ul style="list-style-type: none">1. プログラムの参加者・利用者数2. プログラムの参加者・利用者の満足度、目標の到達度3. 同僚・先輩からみた行動の変容度4. 学生による授業評価における満足度、目標の達成度、授業の改善

			度 5. シラバスにおける目的・目標、授業計画、成績評価の方法に関する記載内容
フェーズⅢ： 応用・発展 (開発・改善と 成果の報告・発表)	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業運営についての多様な方法を取り入れ、担当科目の授業をより充実・発展させる。 ② 教材及び授業実践方法について創意・工夫し、担当科目の授業をより充実・発展させる。 ③ 学生の成長を促すような、成績評価について工夫する。 ④ 学生による授業評価及びピアレビューに基づく授業評価結果を、授業改善に生かす。 ⑤ 担当科目の授業実践例をプレゼンテーションする。 ⑥ 学生獲得のための広報活動を行い、よき学生獲得に協力する。 ⑦ 学生支援に創意工夫する共に後輩教員の学生支援の相談・助言をする。 	【学科及び全学主体】 1. ワークショップ 2. セミナー 3. 授業公開プログラム 4. 模擬授業 5. 授業改善の成果報告(論文・報告書) 6. ティーチング・ポートフォリオ 7. 教科書作成の支援 【全学主体】 1. 文献リスト 【学科主体】 1. 授業参観プログラム	1. プログラムの参加者・利用者数 2. プログラムの参加者・利用者の満足度、目標の到達度 3. 学生による授業評価における満足度、目標の達成度、授業の改善度) 4. シラバスにおける目的・目標、授業計画、成績評価の方法に関する記載内容
フェーズⅣ： 支援 (教授と支援)	<ul style="list-style-type: none"> ① 他の教員(後輩教員)に対し、授業実施に関し支援(相談・助言)する。 ② 所属機関に適したFDプログラムを企画・運営する。 ③ 自分の専門分野の教育における、国内外の動向について説明する。 ④ 学生獲得のための広報活動を実施し、よき学生を獲得する。 ⑤ 個々の教員に、学生支援の相談・助言を行なう。 	【学科及び全学主体】 1. コンサルテーション(個別、グループ) 2. 授業支援ツールの開発協力 3. チーム・ティーチング 4. ネットワーク化の支援 【全学主体】 1. 文献リスト	1. プログラムの参加者・利用者数 2. プログラムの参加者・利用者の満足度、目標の到達度 3. メンティによるメンター評価における満足度、目標の到達度